

平成27年度 第8回卒業式 式辞

今朝は真冬に戻ったような寒さとなり、まさに三寒四温を実感する毎日ですが、明るい陽差しの中に新しい春の訪れが感じられる季節となってまいりました。

この佳き日に、大阪府立緑風冠高等学校第8回卒業証書授与式を挙げていただきましたところ、大阪府教育委員会ご代表 廣瀬祐司 様、大阪府議会議員 橋本和昌 様、大東市教育委員会ご代表 和阪佳子 様、大東市立の8中学の校長先生方をはじめ、多数のご来賓の皆様には、公私ご多用の中、ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

ただ今、卒業生274名に卒業証書を滞りなく渡すことができました。このように生徒たちがめでたく卒業できましたのも、日ごろから学校を温かく見守ってくださる皆様方のご支援の賜ものと重ねてお礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうでございます。皆さんは雨の日も風の日も通いなれた緑風冠を、いま飛び立とうとしています。3年間の皆さんの努力と精進に対して心から拍手をおくります。ここにいる一人ひとりがしっかりと積み上げてきた成果が、今日の晴れの卒業の日をもたらしました。

楽しいことも多かったでしょうが、辛いこと、厳しいと思われることもあったでしょう。しかしそうした困難も、皆さんは立派に克服してきたわけです。私は皆さんのそうした努力に対し、まず敬意を表したいと思ひますし、ほめたいと思ひます。と同時に、皆さんの頑張りを陰で支えてくださったご家族、先生方、友人、地域の方々、そして府民の皆様の大きな力があつたことを決して忘れないでください。

皆さんは初めて前期と後期の2回の選抜があつた年に入学しました。合格発表までの不安が喜びに変わった日の感激を覚えているでしょうか。入学式の日、前校長松本透先生は式辞の中で、皆さんに「自分の可能性を幅広く探してほしい」そして「出会いを大切にしてほしい」とおっしゃいました。

卒業式に臨み、いま、皆さんの心の中には3年間の様々な思い出が浮かんでいることでしょうか。それは、一人頑張った勉強のことでしょうか。友と苦楽を共にした部活動のことでしょうか。みんなで取り組んだ体育祭や文化祭、宮古島での研修旅行など学校行事のことでしょうか。緑風冠高校で自己を精一杯に鍛錬したことは、今後の人生に必ず役に立つことでしょうか。そして、再び巡ってくることのない友との貴重な思い出として、それをいつまでも大切にしてください。

さて、皆さんは4月から通い慣れた高校を巣立ち、新しい一歩を踏み出すわけですが、しっかりと目標を持っていますか。ディズニーランドを作ったウォルト・ディズニーは、

「若者の多くは、自分たちに未来はない、やることなど残っていないと思っている。しかし、探検すべき道はまだたくさん残っている。」と言いました。何か目標を持つこと、それに向かう意欲を失わないことが、毎日を有意義に生きることに繋がります。時間は誰にでも平等に与えられますが、その使い方は人それぞれです。卒業しても、3年後、4年後に自分はどうなっていたいかを常にイメージして、具体的に行動を積み重ねてください。

そして、しっかりと力を蓄え、その力を世界の人のために使ってください。自分のためではなく、人のために努力する時、私たちは自分の限界を超えることができます。私は、少し大人しく見えた皆さんに、大志を抱いてほしいと願っています。いつの時代も若い人たちが次の時代を作り出してきました。次は皆さんの出番です。

最後になりましたが、保護者の皆様には、立派に成長されましたお子さまのご卒業を心よりお祝い申し上げます。卒業という節目を迎えたお子さまの姿に感激もひとしおと思います。三年間本校の教育方針、教育活動に深いご理解をいただき、ご協力、ご支援をくださいましたことに厚くお礼申しあげます。今後とも、本校発展のためにお力添えをお願いいたします。

最後に、今日を境に新しい世界に踏み出す皆さんが、これからも輝き続けることを期待して、「不撓不屈」という言葉をはなむけの言葉として送りたいと思います。

皆さんの前途が洋々たるものとなり、幸多かれと祈念して、式辞といたします。

それでは、ごきげんよう。

平成28年2月25日 大阪府立緑風冠高等学校長 井上 慎一